

教育センター ニュース



教育支援課
マスコットキャラクター
しえん君



四日市市教育委員会 教育支援課 〒510-0085 四日市市諏訪町2-2(四日市市総合会館6階)
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280

ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

■特集 教育支援課 平成23年度重点事業

子どもたちの健やかな育ちを支援します

教育支援課 武内 克彦

四月一日、人生初めての電車通勤から始まり、役所の中では見通しの持てない不安な一日をすごしました。新入生の子どもの中にもこのような気持ちで、小学校や中学校へ入学してくる子どもがいるのかと、その不安の一端が分かったような気にもなりました。

教育支援課の役割は、かなりわかりやすくはつきりとしています。私たち教育にかかわる者の社会的使命は、教育基本法の第一条にあるように、「子どもたちの人格の完成を目指し、子どもたちを平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民に育成していくことです。その使命を達成するために、直接子どもを、あるいは保護者や教職員、学校・園を支援していくことが、教育支援課の役割であると考えています。

教育支援課は、主に教職員の資質向上を担う「研修・研究」と主に特別

支援教育の充実を担う「特別支援教育・相談」の2つのグループで構成され、それぞれのグループが、様々な事業を展開しています。今年度の重点となる事業については、本号で詳しく特集していますので、ぜひご覧ください。その中の一部について簡単に触れます。

まず、本市の教職員の年齢構成は、若手とベテランが多く、中堅が少なくなっています。あと十年もすれば、大きく年齢構成が変化していくため、若手とミドルリーダーとなるべき教職員の育成が急務といえます。個々の教職員の課題やニーズに応じた研修を提供するとともに、若手やミドルリーダー研修を充実し、「教師力向上サポートブック」を活用した研修をすすめていきます。学校には、子どものほめ方や叱り方、トラブルの処理など、先輩や同僚から学ばなければ身につかないことが多くあります。各学校・園でのOJTを充実し、円滑に

すすめるための情報提供にも力を入れていきたいと考えています。

次に、発達の特性や家庭環境、集団生活への不応など、何らかの課題を抱えた子どもたちが増えていますが、子どもたちのニーズに応じた支援を行うための各学校・園の人的資源には限界があります。教育支援課として、U・8やY・E・S・n・e・t、巡回教育相談及び適応指導教室等の各事業のさらなる充実を図っていくとともに、各学校・園の支援体制・支援システムの確立や個々の教職員の力量を高めるための支援も行っていきたいと考えています。

課員一同、「子どもたちの健やかな育ち」のために仕事をしていることを常に忘れず、今年度の事業を展開していきます。どうぞ、よろしくお願ひします。



平成23年度 重点事業

教育支援課 研修・研究グループ



本市の学校教育ビジョンに基づき、今日的な教育課題に対応した研修を実施し、教職員の専門性と実践的指導力を高めるとともに、幅広い視野を備えた教職員の育成および資質・能力の向上を目指します。

1 「教師力向上サポートブック」活用の一層の推進

- ① 自己分析や振り返りを充実させ研修に生かすため、に幼小中すべての職種の教職員が活用できる「四日市市学校・園教職員 自己相互研鑽のために」を配付します。
- ② 個人目標達成のための受講選択が容易になるよう、受講対象者や研修のねらいを明確にした実践的な教職員研修講座を実施します。

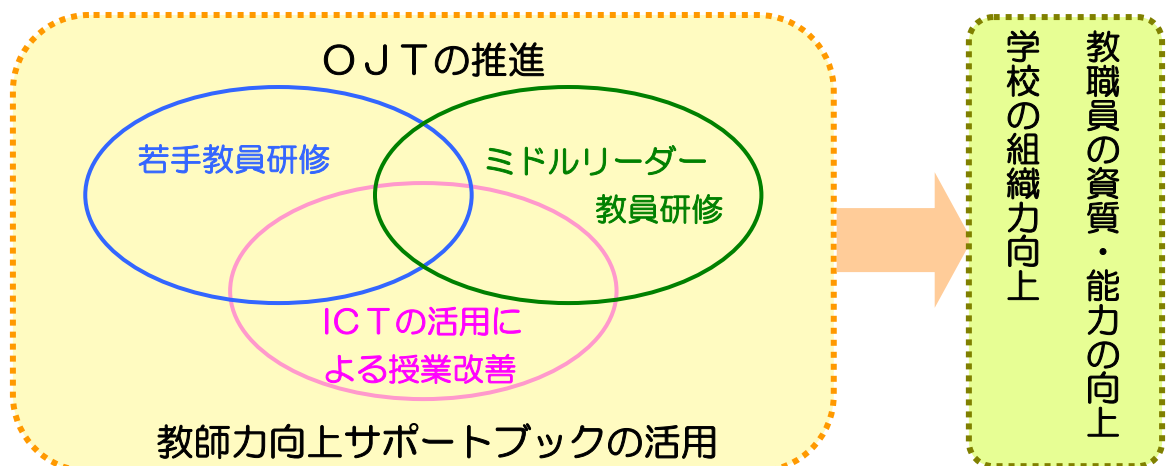
138講座 184日

- ③ 各学校・園でのOJTを円滑にすすめるために、センターニュースやサポートメールを使って適時にサポート情報を配信します。



2 若手教員やミドルリーダー教員の育成

- ① 初任から2年目の教諭及び1～2年目の講師を対象に、若手教員研修を実施します。若手教員の授業づくりや学級経営についての研修講座を充実させるとともに、教育アドバイザーと連携して授業訪問支援を行います。
- ② 30～40歳代前半の教員を対象に、学校運営の要となるミドルリーダー教員研修を実施します。学校運営に役立つ研修講座を実施するとともに、若手教員の育成に携わる立場としての在り方について助言・支援します。



3

授業や校務へのICT活用の推進

- ① ICTコーディネーターを中心にすべての学校で、年1回以上のICTを活用した校内授業研究を実施し、教育支援課指導主事が助言・支援します。
- ② わかりやすい授業づくりや校務の効率化のためのICT活用を一層進めるために、より実践的なICT活用研修やICTコーディネーター研修等を実施します。



平成23年度 重点事業 教育支援課 特別支援教育・相談グループ



1

教育支援課の巡回教育相談(小中学校)

学校生活をおくる上で課題のある発達障害等の児童生徒への支援について、授業等の様子を見た上で、内容と方法を学校に助言します。

中学校は、全中学校に年間2回、昨年に引き続き、特別支援教育士スーパーバイザーの小栗正幸先生が訪問します。

小学校は、要請のあった学校に年間2回、教育支援課セラピストである臨床心理士の今尾真弓先生が訪問します。

2

四日市早期支援ネットワーク(YESnet)^{イエスネット}

YESnet (Yokkaichi Early intervention Service network) は、四日市市を拠点に、子どもたちのこころの病気の早期発見・早期支援のために、教育委員会、保健所、医療機関がネットワークを組んで取り組んでいる事業です。

子どもに気になる症状がみられたら、教育支援課まで相談してください。必要に応じてYESnet 合同会議等で事例検討を行い、具体的な支援の方法について話し合い、医療につながるまでの対応についても検討していきます。今年度は、YESnet スタッフが学校へ出向いて事例検討会を行うことも可能になりました。

さらに、子どもたちのこころの病気について理解が深まるよう、研修講座を開催します。

3

プロジェクト U-8 事業の「自信を高めるための4つの教室」

巡回教育相談等を受けた子どもたちのうち、知的な遅れはないが次のような課題のある子どもや保護者を対象にして、4つの教室を開講しています。

早期からの対応を行い、自己肯定感や自信をもって学校生活を送るための支援をします。

1. 幼児ことばの教室 知的障害に起因しない言語に課題のある子ども（年中・年長児）
2. まなびの教室 読み・書き・計算等の理解に課題のある学習障害（疑いを含む）のある子ども（小学校通常学級1，2年生）
3. ともだちづくり教室 コミュニケーション力や社会性に課題のある子ども（年中児から小学校通常学級2年生）
4. 子どもの見方・ほめ方教室 コミュニケーション力や社会性に課題のある子どもの保護者（ともだちづくり教室に参加している子どもの保護者）



※詳しくはリーフレットをご覧ください。

4

教育相談

不登校や心に悩み・不安のある子どもへの支援として、相談員やセラピストがカウンセリングやプレイセラピー等を行います。

また、発達等に課題のある子どもや障害のある子どもの支援として、来所相談や学校や園への巡回教育相談を行います。

必要に応じて、諸検査を行ったり、教育支援課が委嘱している専門医と相談したりできます。

5

適応指導教室

不登校の子どもを対象に、学習活動や体験活動、教育相談やカウンセリングを行い、子どもたちの学校復帰に向けての支援や、社会的自立を促す支援を行います。

また、引きこもりがちな子どもの家庭には、学生ボランティア（ふれあいフレンド）を派遣し、子どもの心の安定を図り、自立への支援を行います。

